



和光の緑と湧き水だより 会報 Verda 229号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会は、白子大坂ふれあいの森の会と協同で会報を発行します。 作成:高橋絹世 連絡先 048-462-9912

身近な自然を知り守り伝えよう **会員募集中**

ホームページ

<http://wako-wakimizu.org/>



2024年4月から6月の活動予定

予定	全体会	新倉ふれあいの森	富澤湧水・大坂ふれあいの森
4月	29日(祝)つつじ祭り 「こねこねせっけん」 ワークショップ せっけんを使って川や湧き水をみんなで守ろう!	20日(第3土) 恒例のタケノコ掘り体験	13日(第2土)富澤湧水フィールドワーク 中旬 大坂ふれあいの森での公園みどり課の工事に関する説明会
5月	緑化イベント参加予定	18日(第3土) 定期保全	11日 富澤湧水フィールドワーク ドクダミの収穫時期 大坂ふれあいの森の活動は変更があります
6月	1日(土) 第17回湧き水の会 総会(白子コミセン)	15日(第3土) 定期保全	8日(第2土)富澤湧水 大坂ふれあいの森の活動は変更あり

1. 富澤湧水でヒロハアマナ観察と湧き水めぐり

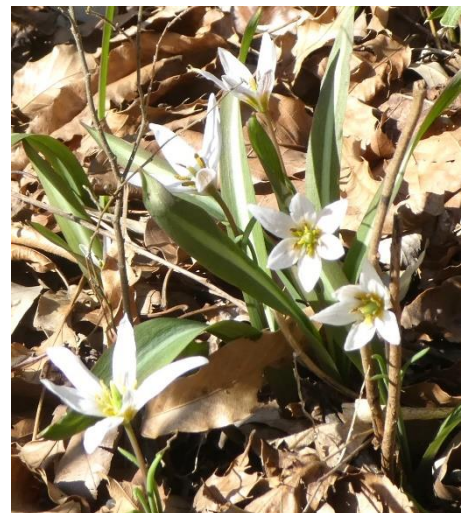
9時半～前半は水辺の外来種(トキワツユクサ)の除去と水辺の落ち葉掃きを行い、10時半からは、コミセン前に集まった観察会参加者を交えて、ヒロハアマナ観察会を行いました。練馬区立牧野記念館学芸員の小川さんにお出でいただきました。

小川さんのお話によると、武蔵の国のヒロハアマナ群生地は、かなり重要な自生地として記述されているそうです。牧野植物研究雑誌に写真で紹介された新倉村谷中の群生地が以前から知られた地域であったようです。



丁度区画整理が始まった時に、球根を掘り出し、市内数カ所に移植し、富澤湧水に保護することが出来たことは良かったと思います。皆さんでこれからも見守っていきましょう。

16日に再度観察に行ったときには見事に開花していました。(右写真)



2. 森のフェスティバル in 新倉ふれあいの森

3月16日は、新倉ふれあいの森を活用して、みどりのパートナー研修会の第4回目、総仕上げのイベントを開催しました。

新倉ふれあいの森には、階段を上ったところが森の広場のようになっています。手作りのテーブルや伐採した幹を使ったベンチがあり、草地もあります。今回は、ロープワーク、アロマオイルづくり、染物など、研修会に参加して学んだことを基に、参加者が気軽に体験できるイベントが企画されました。

森には早春の日が差し、天候に恵まれて、近隣各地に声がけした多くの親子連れ老若男女が集まりました。和光市の柴崎市長がご参加下さり、このイベントがさらに盛り上がりました。



染物としては、シダの葉のたたき染め、テーブルに準備したシダの葉と布のセットを、棒でたたいて染める体験です。親子、特にお父さんが熱心に参加。完成品はそれぞれ黄緑色のシダが染まっていました。アロマオイルづくりは、ビワの葉でチンキ作り、出来上がったアロマは、虫よけなど効果があります。ロープワークでは

テントが張られ、手作りハンモック、ブランコなど子供たちが楽しく体験できました。休憩時間を利用して紙芝居と湧き水の紹介として、皆さんに和光の特徴であるお話し「ぼくのゆめは



ロープでブランコ

わき水になること」を見てもらいました。湧き水の会の

オリジナル作品です。

竹切り体験コーナーも加わりました。栽培していた見事なシイタケも配られました。

参加者皆さん楽しい時を過ごし、自然の空気をいっぱい体感し、交流がうまれました。進行係として赤松さんが大活躍されました。この森が「新倉ふれあいの森植物園」となるよう当会も含め願いが込められていました。



柴崎市長



親子で作品作り



湧き水の会オリジナル作品



3. 大坂ふれあいの森の活動：カタクリの花の季節が訪れました。



3月20日第3水曜日、祝日でしたが大坂に集まりました。早春の明るい森でカタクリはもちろん、2~3センチ伸びたイチリンソウの葉が自生地に見られます。周りのヤブニンジン成長が早く、イチリンソウが押され気味です。この自生地をロープで囲いました。ここから礫が見える急斜面に繋がっています。この急斜面はがけ崩れでこのようになったのではありません。

湧き水が湧き出していた「沢の源頭」です。湧き水がわく沢は、山奥だけにあるのではなく、武蔵野台地末端部の都市部大坂ふれあいの森に存在しています。崖地には、シュロが生えていてシュロ根は崖地を保護する力があります。シュロのすぐそばには「ムクノキ」が伸びてきています。ムクノキは崖を守るような働きをする樹木です。このような崖地に樹木が生えるには、平地よりずっと年月がかかります。

ムクノキが太い幹になるまで見守っていく事が、崖を残す方法



です。すぐ隣には、見事な太さのムクノキが崖を守っています。このように太い木もこれから成長する細い木も、大坂ふれあいの森の最も大切な樹木です。

4. 紙芝居の読み聞かせ 下新倉小学校 及び ゆめの木保育園

1月15日下新倉小学校3年生の総合学習の時間に、湧き水の紙芝居の読み聞かせを行い、その後和光の自然を紹介しました。1月29、30、31日にはゆめの木保育園年長組園児の観察



会も実施しました。富澤湧水の上部に保育園「ゆめの木保育園」があります。杉尾さんが中心に保育園園長先生に、絵本「ぼくのゆめはわき水になること」を紹介し、すぐ近くにある富澤湧水への園児の観察会の実施を勧めました。

数回の打ち合わせと下見をし、年長組の観察会が実現しました。先ず富澤湧水で紙芝居を読み聞かせます。そのあとで、湧き出る斜面を観察するというスケジュールです。紙芝居の効果



があり、湧き水が粘土と石ころのある所の境から出ているのが理解できるようです。実際の湧き水がわく様子が子供達にも実感できました。このような事業は、今後も継続していく予定です。

5. 2024年度、サイサン環境保全基金の助成対象となりました

2024年度は、絵本の増刷が認められ、この「湧き水くん」の絵本をさらに広めていきたいと思っています。絵本に加え紙芝居にしたことで、活用が広がっています。たとえば富澤湧水の前で、紙芝居を読み聞かせ、実際の湧き水の仕組みが理解しやすくなり、印象にも残ります。サワガニも棲んでいます。水辺をきれいに、汚さないように大切にする活動にも発展してきています。皆さんぜひご協力をよろしくお願いいたします。

紙芝居の完成品は、現在3部です。あと5部は未完成、裏に厚紙を張り、紙芝居用の文章を張り付ける作業が必要です。日程を決めて参加していただき完成品にしたいと思います。

水辺にある説明板も、今年度充実させていこうと計画しています。水辺に「白子湧水の特徴が判りやすくする説明看板」が必要で、2024年度に予定しています。



6. 2024年度の総会は、2024年6月1日（土）

2024年度第17回通常総会を6月1日に開きます。

会場は白子コミュニティーセンター 3階 視聴覚室 です。

総会資料は、4月末にお送りする予定です。

今年も会員皆さん大勢参加していただきたいです。

さらに新しい会員さんもぜひこの機会にご入会下さい。

7. 樹林公園のヒロハアマナについて

現在保全している市内3カ所に加えて、樹林公園も4月ヒロハアマナの葉が消えない時期に一度手入れをしたいと思っています。4月は暑すぎず、寒くもなく、動きやすい季節。1時間半の活動にご協力ください。4月24日頃です。

8. 4月のイベント事業の紹介

1. 新倉ふれあいの森 タケノコ掘りと野草観察会 4月20日午前

小学生親子10組の募集です。会員は参加して今年のタケノコの状況を観察しましょう。

2. 熊野神社つつじ祭り「こねこねせっけん」ワークショップ4月29日

“せっけんを使って和光の川やわき水をみんなで守ろう。”橋本さんが企画中です。